

のり海況速報 第7報 (24-7)

平成24年12月21日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/17：内湾(わかふさ)、12/20：内房北部(わかふさ)
 関東・東海海況速報(12/5-21)、東京湾口海況図(12/5-21)
 自動観測ブイデータ(12/5-21)
 モニタリングポスト(12/17国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】 水温はほぼ順調に降下

- ・内湾の表層水温(図1)は先月下旬以降冬型の強まりによって順調に降下し、17日現在ほぼ11～13℃台まで下がっています。塩分は31～32台で、依然平年よりやや高めになっています。
- ・また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近まで前回(12/5)より活発に鉛直混合が行われています。
- ・内房北部の表層水温も降下し、現在ほぼ13～15℃台になっています。
- ・東京湾口への沖水水の流入はいまのところ小康状態ですが、塩分34以上の高い水塊がノリ漁場周辺までみられていますので、この動きに注意が必要と思われます。

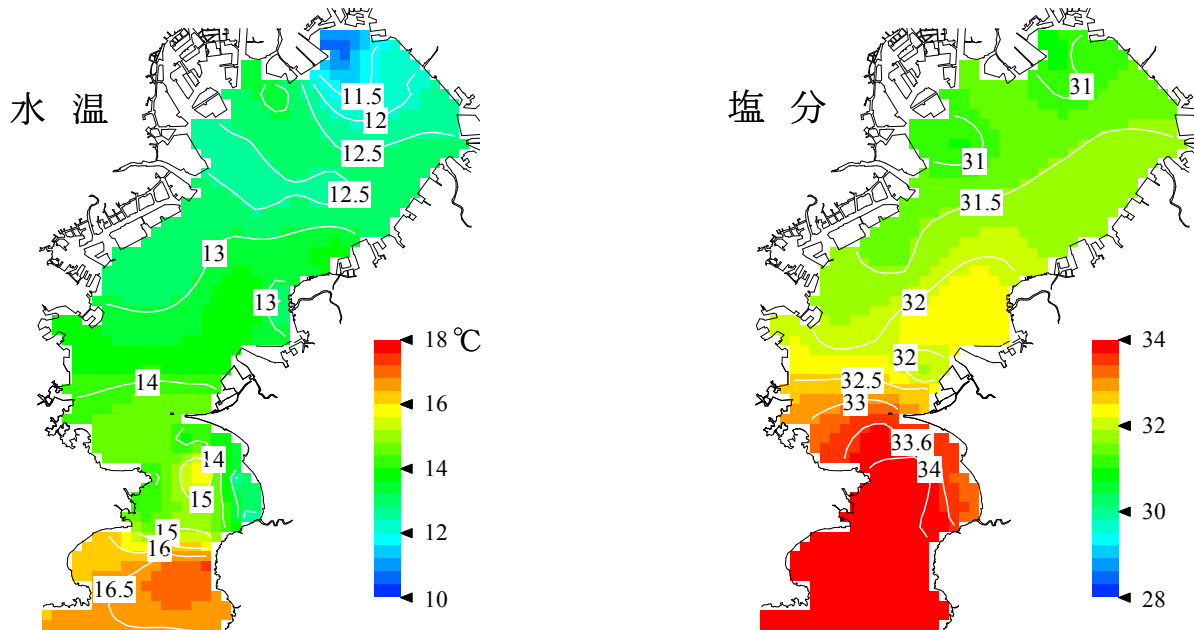


図1 表層の水温・塩分の分布(平成24年12月17, 20日)

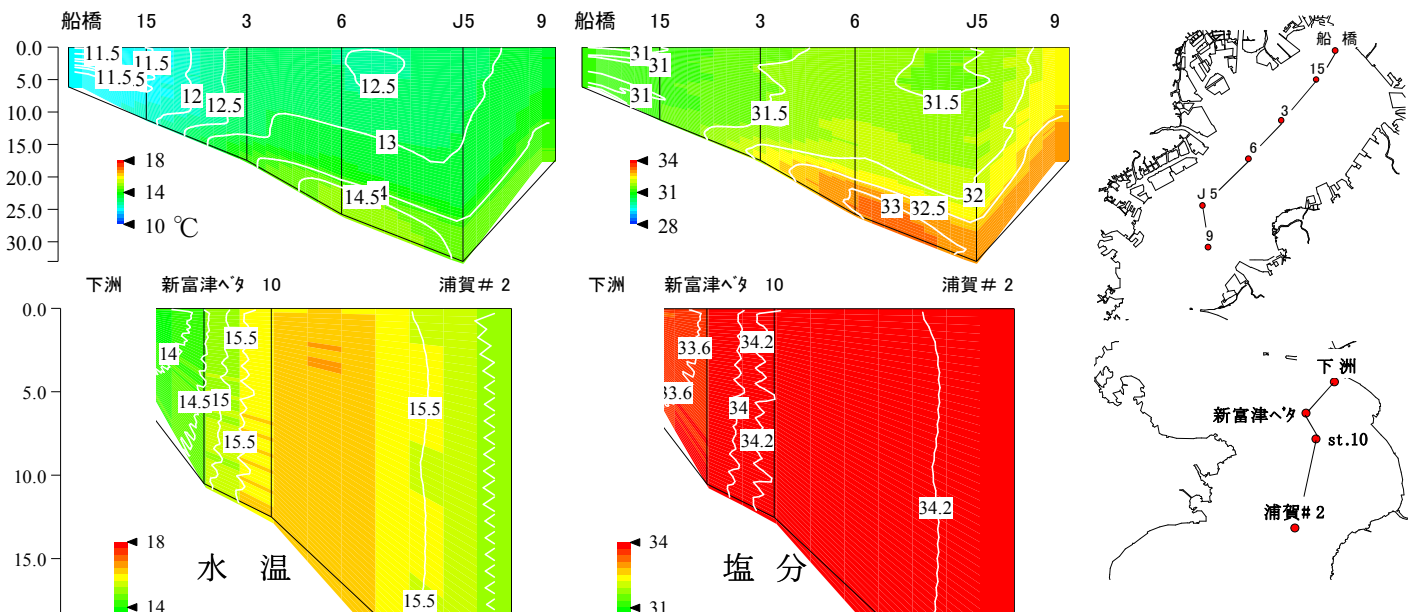


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年12月17, 20日)

【赤潮・栄養塩の状況】 栄養塩は依然十分ある

- ・赤潮は全域で発生していません。
- ・プランクトンは少なく、ケイ質鞭毛藻のディクチオカ、繊毛虫類などがみられる程度です。透明度は船橋地先でやや低いもののおおむね5m以上あり、水色も青緑～緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度です。

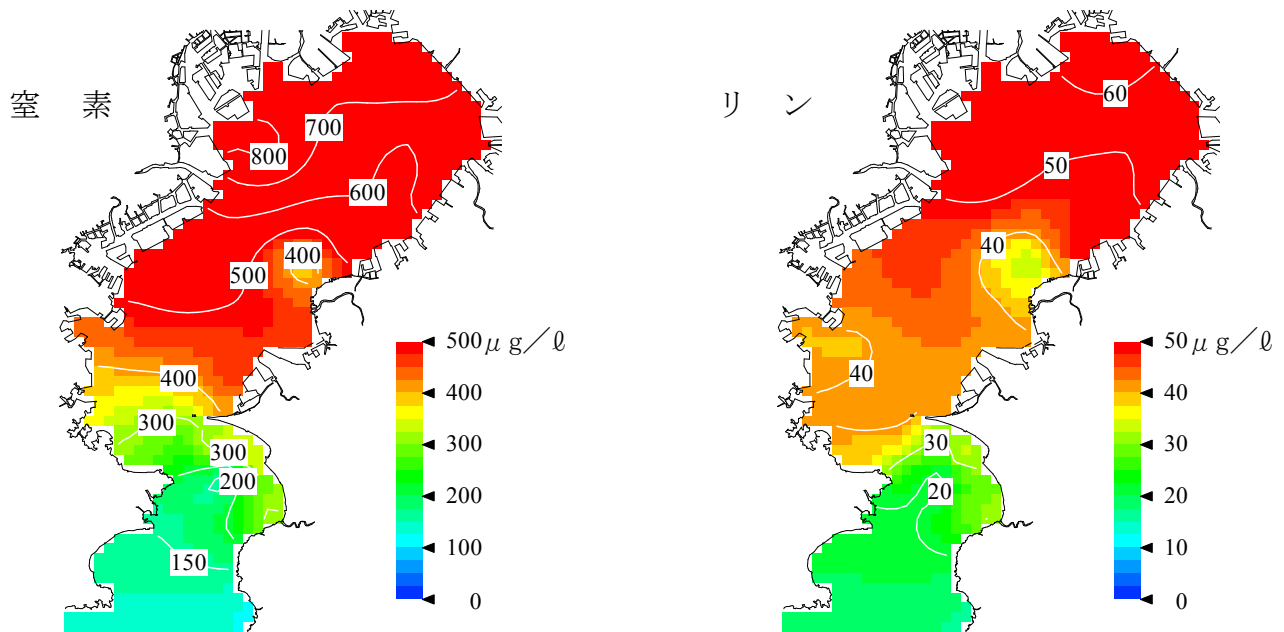


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成24年12月17, 20日)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html